

農林水産大臣 石破 茂 殿

有明海の再生に関する質問への回答及び面談のお願い

平成20年9月26日

よみがえれ！有明訴訟原告団・弁護団

【連絡担当者】 弁護士 後藤富和

姪浜法律事務所（福岡市西区姪の浜4-8-2姪浜デイトス3階）

電話 092-894-1781 / FAX 092-894-1782

携帯 090-****-**** / Eメール ****@****

私ども有明海の再生を願う漁民と市民は、有明海及び有明海沿岸漁業の再生、そして、諫早湾干拓事業の今後の推移について、自民党総裁候補であられた石破先生に大きな期待を有していました。

本年6月27日、佐賀地方裁判所は、3年以内に諫早湾干拓潮受堤防排水門を5年間開けるように命じました。この判決については、有明海沿岸の佐賀県、福岡県、熊本県の各知事、各県議会が支持し開門を求めました。

福田内閣はこれを不服として控訴しましたが、他方で、若林農水大臣（当時）は、開門調査にむけたアセスを実施すると談話を発表しました。一方において開門に反対しながら他方で開門アセスを実施するというのは、政府として、開門をすべきと考えているのか、それとも開門をしない結論を導くためのアセスを行う考えなのか、二枚舌政策といわざるを得ず、市民らを混乱させるに至りました。

有明海で生活する漁業者、そして、諫早湾干拓農地に入植した農業者らが、不安から開放され、安心して漁業・農業を営んでいくために、有明海の再生は緊急の課題となっています。

そこで、本年9月16日、石破先生を含む5名の自民党総裁候補に対して、今後、さらなる九州有明海沿岸地域の発展のため、先生方がいかなるお考えをお持ちなのか、別紙の質問について9月18日までにご回答いただくよう、お

願い申し上げました。同月17日には、有明海の漁業者が直接、石破先生の議員会館内事務所を訪問し回答してくれるよう念押ししました。

この質問に対しては、小池百合子先生及び与謝野馨先生の2名から回答がありました。

これに対し、石破先生を含む3名の先生からは、何の連絡もありませんでした。

ちなみに、回答を得た2名の先生の回答内容は、別紙の通りです。

今回、この質問に対して何らの回答をされなかった石破先生が農水大臣に就任したことに対して、地元有明海の漁業者は大きなショックを受けています。地元有明海では、回答すらされない石破先生には、漁業者の声を聞く気はないのではないかと不信感が募っています。

このことは地元紙でも別紙のように大きく取り上げられ、今後、農水大臣に就任した石破先生が、このまま質問を無視し続けるのか、市民や地元マスコミも注目しています。

そこで、再度、大臣に対して、別紙質問事項にご回答いただき、有明海沿岸の漁業者及び農業者、市民らの不安と混乱を払拭していただきたいと思えます。

つきましては、下記日程で、漁業者及び市民数名が上京いたしますので、この機会に石破大臣から直接ご回答をいただきたいと思えます。もし、大臣自身がやむを得ず面談できない場合は、大臣の代理をつとめる方から大臣自身のお考えをご回答願いたいと思えます。

面談希望時間・場所

日時 平成20年10月2日（木）午後の大臣ご指定の時間帯
場所 合同庁舎1号館農林水産庁内の大臣ご指定の場所

前回、石破先生からご回答いただけなかったこと、そして、それに加えて、回答されなかった石破先生が諫早湾干拓事業をつかさどる農林水産大臣に就任したことに有明海沿岸地域の漁業者、農業者は混乱させられ、同時に失望の感を強くしております。

そこで、この再度のお願いに対しては、無視されずに誠実に漁業者らの面前
でご回答いただきますよう切にお願いいたします。

なお、10月2日午後の面談の時間及び場所については、連絡担当者である
弁護士後藤までご連絡下さい。

以上

(別紙)

質問事項

【質問 1】

諫早干拓潮受け堤防排水門の開放について、どのようなお考えをお持ちですか。以下の中からご回答下さい。

- ア 直ちに開放すべきである。
- イ アセスの結論が出るまで水門は開放しない。
- ウ アセスは不要で断固開門しない。
- エ その他

【質問 2】

若林農水大臣（当時）が談話で発表したアセスの実施について、どのようなお考えをお持ちですか。以下の中からご回答下さい。

- ア 本件は、法律上の環境アセスには当たらないので、アセスの実施は不要である。
- イ 一方において開門を否定しながら同じ農水省の担当部局がアセスを実施するのではアセスの公平性が保てないので、このような形でのアセスは実施すべきではなく、アセスの実施主体や担当部局も含めてアセスの実施方法を抜本的に見直すべきである。
- ウ 本件アセスの実施には何ら問題はない。
- エ その他

【質問 3】

その他、有明海の再生にむけた先生のお考えがございましたら、お聞かせ下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(別紙)

回答内容

1 小池百合子先生

【質問1】排水門の開放について

開放すべきと考えるが、開門した際の環境影響を考える必要がある。ただしその手続はスピーディーに行うべきだ。

【質問2】農水大臣談話のアセスの実施について

法律上の環境アセスにはあたらないが、アセスの実施についてはこれまであるデータを利用して速やかに行うべきと考える。

【質問3】その他

元環境大臣として有明海については強い関心を持っています。有明海の環境を良くするために、あらゆる可能性を求めていくことが重要です。

2 与謝野馨先生

【質問1】排水門の開放について

【質問3】の回答をご参照下さい。

【質問2】農水大臣談話のアセスの実施について

【質問3】の回答をご参照下さい。

【質問3】その他

地元の関係者の間には、様々なご意見があると聞いています。

関係者の同意を得ながら、有明海の再生に向けた取り組みを進めていくことが重要であると考えます。

(別紙)

新聞報道

毎日新聞 2008年9月20日 西部朝刊

諫早湾干拓事業訴訟：原告・弁護団が公開質問状

自民党総裁選候補「諫干」眼中になし

◇麻生氏「時間がない」

◇石原・石破氏は“無視”

国営諫早湾干拓事業（諫干）で閉め切られた潮受け堤防の開門を求めている「よみがえれ！有明訴訟」の原告・弁護団が自民党総裁選の5候補に公開質問状を出したところ、小池百合子氏と与謝野馨氏からは回答が寄せられたものの、残る3氏は期限の18日までに回答しなかった。弁護団の後藤富和弁護士は3氏について「（諫干への）現状認識が低すぎる。明確なビジョンが示されていないのは政治力の欠如だ」と批判した。

原告・弁護団によると、小池氏は「開放すべきと考えるが、環境影響を考慮する必要がある。ただし手続きはスピーディーに行うべきだ」と、開門に前向きな回答をした。与謝野氏は「関係者の同意を得ながら、有明海再生に向けた取り組みを進めることが重要」と、開門の是非には踏み込まなかった。

一方、麻生太郎氏側は「時間がない」と、秘書が回答できないことを伝えた。

石原伸晃、石破茂両氏からは連絡もないという。

原告・弁護団は16日に質問状を送り、17日に議員会館を訪ねて回答を求めている。

諫干を巡っては佐賀地裁が6月、国に5年間の開門を命じる判決を出し、国は控訴する一方、開門調査に向けた環境アセスメント実施を表明した。

西日本新聞 2008年9月19日

開門前向き小池氏だけ 原告・弁護団質問状 諫干問題で総裁選5氏

有明海沿岸の漁業者らでつくる国営諫早湾干拓（長崎県）の潮受け堤防排水門の開門を求める訴訟の原告・弁護団は19日、自民党総裁選に立候補している5氏への開門に関する公開質問状の回答結果を公表した。回答は小池百合子、与謝野馨の2氏にとどまり、麻生太郎、石原伸晃、石破茂の3氏からは回答が

なかった。

質問状は16日に送付。排水門開放、開門調査のための環境影響評価（アセスメント）、自由意見 - の3項目で、18日までに各氏に見解を出すように求めた。

小池氏は「元環境大臣として有明海には強い関心がある」とした上で「スピーディーに開門すべきだ」と考える。アセスも速やかに行うべきだ」と開門に前向きな姿勢を明らかにした。与謝野氏は「関係者の同意を得ながら、有明海再生へ取り組みたい」と慎重な回答だった。原告・弁護団によると、17日には漁業者らが議員会館にある5候補の事務所を訪問して回答を念押ししたが、麻生氏の事務所では「そんな時間はない」と断られたという。

佐賀新聞 2008年9月20日

〈自民総裁候補に開門の是非質問〉

諫早湾干拓訴訟の原告弁護団は十九日、自民党総裁選の候補者五人に、排水門の開門などに関する公開質問を出し小池百合子、与謝野馨の二候補から回答があったと発表した。残る三候補からは回答は得られなかったとしている。

質問は十六日に送付し、排水門の開門、アセスメントの実施、有明海再生の三項目について、考え方を聞いた。

小池氏は排水門について「開門すべき」との考えを示しつつも「環境への影響を考える必要がある」とし、アセスは「これまでのデータを利用し、速やかに行うべき」と回答。与謝野氏は各項目ごとの回答ではなく「地元の関係者の同意を得ながら、再生に向けた取り組みを進めることが重要」と回答した。